3月1日母 ▶ 3月14日会

第78回 姫路市美術展

●会場: 姫路市立美術館企画展示室 ●休館日: 月曜日 ●料金: 無料

1946年に、第1回展が開催されて以来、本展は兵庫県内で最も古い公募展 として今日まで続いてきました。15歳以上であれば国籍、居住地を問わず、ど なたでも応募できる開かれた展覧会です。応募作品から入選・入賞作品を公 開します。審査員による公開講評会も開催します。



姫路市美術展優秀作品 市役所ロビー展示

- ●会場: 姫路市役所1階 ●休館日: 市役所閉所日 ●料金: 無料
- 114月1日周▶8月2日金 218月5日周▶11月29日金
- 3 12月2日月▶4月4日金

オール ひめじ・アーツ & ライフ・プロジェクト All Himeji Arts & Life Project

アートはライフ(命・一生・くらし)に溶け込んでこそ真価を発揮します。 姫路市 立美術館は、アートのプラットフォームとして、海・島・山・森林・田園、ひめ じ全域が擁する地域文化をアートの力で市民ライフの糧として再発見するととも に、新たな姫路の魅力を国内外に発信するアートプロジェクトを推進します。 このプロジェクトにより、姫路の二大文化資源である姫路城と圓教寺をつなぎ、 有形・無形の文化資源の現代的価値を創出・発信する文化クラスターを形成 していきます。2024年度は隈研吾の展覧会と"霧のアーティスト"中谷芙二 子の庭園アートプロジェクト(2024年度までの3か年事業)を開催します。





書寫山圓教寺

2024 年度友の会会員募集中

- ●年会費: 普通会員3,000円 学生会員 高大生1,500円 小中生1,000円
- ●常設展・企画展の無料観覧
- ●美術鑑賞旅行など友の会イベントのご案内
- ●美術館内喫茶の割引利用など

お問い合わせは 友の会事務局へ TEL 079-222-2288

INFORMATION [ご利用案内]

開館時間

午前10時~午後5時(入場は午後4時30分まで)

又、下記の日程で夜8時まで美術館庭園を開場する予定です。

9月上旬~11月下旬、期間中の金・土曜日

休館日

毎週月曜日(祝日・休日の場合を除く)

4月30日 (4月30日 (4月)日 (4月30日 (4月)日 (4月30日 (4月)日 10月15日②、11月5日②、12月28日①~1月3日③、1月14日②、 2月25日必

休館のお知らせ

メンテナンスのため、2025年3月15日から3月31日まで休館予定です。

庭園は開園予定です。(月曜日は除く)

そのほか、メンテナンスのために臨時休館する場合があります。

交通

[姫路市立美術館]

鉄道(姫路駅まで)

JR新幹線…新大阪から約30分、岡山か ら約20分

JR在来線…大阪から在来線(新快速)で約 1時間、JR三ノ宮から約40分 岡山から約1時間25分

山陽電車 …大阪梅田から約1時間30分、 神戸三宮から約1時間

姫路駅から

徒歩約20分

神姫バス 7または 8乗り場から乗車約8分、 「姫山公園南・国立姫路医療センター・ 美術館前」停留所下車すぐ

車(姫路城を目標にご来館ください)

中国自動車道 福崎I.C.より播但連絡自 動車道で砥堀ランプ下車約15分 山陽自動車道 姫路東I.C.あるいは姫路

西I.C. 下車約15分 阪神高速・姫路バイパス中地ランプ下車

約15分 *美術館に駐車場はありません。近隣の有料駐 車場をご利用ください。

「「圓教寺×隈研吾 生き延びるため のデザインワーク:これからの用の美」

書寫山圓教寺へのアクセスは 「姫路駅」より神姫バス[10]乗り場から乗車 約30分「書写山ロープウェイ」下車、ロー プウェイで約4分(山上駅から徒歩約20分) http://www.shosha.or.ip/







姫路市立美術館

Himeji City Museum of Art

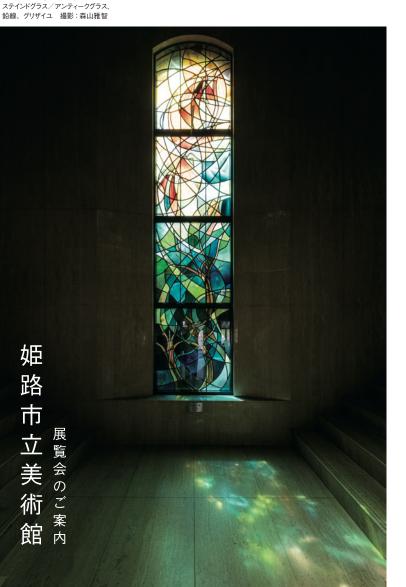
〒670-0012兵庫県姫路市本町 68-25 TEL 079-222-2288 FAX 079-222-2290 https://www.city.himeji.lg.jp/art/



Himeji City Museum of Art

EXHIBITION SCHEDULE 2024-2025

立花江津子《芸術の曙》1983年



Kunitomi Keizo Collection Gallery [コレクション展示]



《ル・プティ=ジュヌヴィリエにて、日の入り》

涌年(休館中を除く)

國富奎三コレクション

近代フランス絵画 モネからマティスまで

フランス近代絵画を中心とする 53 点のコレクション。コロー、クールべから 印象派のモネ、ピサロを経て、20世紀絵画に大きな足跡を残したマティス まで、19世紀から20世紀にかけてのフランス絵画を常時30点展示して います。

●会場: 國富奎三コレクション室

●料金: 一般210 (160) 円/大高150 (120) 円/中小100 (80) 円

*()内は20人以上の団体料金

CALENDAR [美術館カレンダー] ····休館日 ···・メンテナンス休館

4 日月火水木金土 5 日月火水木金土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27

28 29 30

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

4 5 6 7 8 9 10

11 12 13 14 15 16 17

18 19 20 21 22 23 24

1 2 3

2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 26 27 28 29 30 31 23 24 25 26 27 28 29 30

1 月火水木金土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

10 日月火水木金土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

26 27 28 29 30 31

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28

25 26 27 28 29 30 31 12 日月火水木金土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21

22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

庭園アートプロジェクト 4月27日母 ▶ 12月1日母 夜間公開期間中(9月上旬~11月下旬)は、20:00まで公開



中谷芙二子《白い風景―原初の地球》霧の彫刻 #47769, 2023 年 ©Fujiko Nakaya



中谷芙二子

霧の彫刻―体・音・光

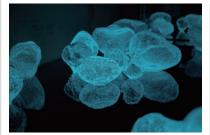
2022年度からスタートした「霧の彫刻」3部 作の制作プロジェクト。7月よりアーティストグ ループ「ダムタイプ」の創設メンバーである、

中谷業二子氏

Photo: Laura Miglone 高谷史郎とのコラボレーションを展開予定。 1作目《白鷺が飛ぶ》、2作目《白い風景―原初の地球》に続 〈第3作目は、「体・音・光」をテーマに新しい風景を創出します。

- ●休場日:月曜日(祝日・休日の場合は開場し翌平日休場)
- ●料金:無料 ※会期途中で作品が変貌します。詳細はHPをご確認ください。

Special Exhibition [企画展示] *()内は20人以上の団体料金



佐々木類 (招待作家) (水の記憶) 2021 年 作家蔵 撮影: Nik van der Giesen

4月27日 → 6月23日 日

一見えない光を捉えるアート

プリズムを通して光のひとつのあり様を知るよ

うに、目に見えない何かを自分なりに理解し、

表現しようとすることは、人類が長い歴史の

中で行ってきたことです。本展では「光」を切

り口に、当館の所蔵品を中心として、光の

表現の多様性とアートについて考えます。

●料金: 一般700 (500) 円/大高400 (200) 円

●休館日:月曜日(ただし4/29、5/6は開館)

4/30®, 5/7®

中小200 (100)円

プリズム

小川晴暘 《雲岡石窟記念写真》 《新薬師寺金堂 十二神将・伐折羅大将像》 ©Asukaen.Inc

7月6日 → 9月1日 日

小川晴暘と飛鳥園 100年の旅

小川晴暘は、仏像写真を芸術の域にまで高めた 姫路市出身の写真家で、奈良の文化財に感銘を 受け、国内のみならずアジアでも撮影を行いました。 1922年に晴暘が創業した写真館「飛鳥園」は、 100年を迎える現在も続いており、本展では晴暘 の作品を中心に、飛鳥園の活動を振り返ります。

●休館日:月曜日(7/15、8/12は開館)、7/16必、8/13必 ●料金: 一般 1,000 (800) 円/大高600 (400) 円 中小200 (100)円

4月20日母 ▶ 6月15日母: ワークショップ 6月16日 ▶ 12月1日 : 展示



書寫山圓教寺 三之堂



隈研吾氏

パビリオン 《くぎくも》 イメージ

圓教寺×隈研吾 生き延びるためのデザインワーク: これからの用の美

西の比叡山と呼ばれる名刹・書寫山圓教寺で は、世界的建築家である隈研吾が、摩尼殿と 三之堂に触発されたパビリオン《くぎくも》制作と、 「はづき茶屋プロジェクト」を展開します。市民 参加によるワークショップも実施予定です。



●料金:無料(ワークショップの参加には材料費等が必要になる場合があります) *別途、圓教寺拝観志納金が必要です。



左、「つんつん」の参考事例

築の魅力を深堀りします。

中小400 (200) 円

姫路編

(GC プロソミュージアム・リサーチセンター, 2010, 愛知 ©Daici Ano) 右 . 「ぱらぱら」 の参考事例 (梼原 木橋ミュージアム . 2010, 高知 ©Takumi Ota)

隈研吾流オノマトペで見る建築

隈研吾が自身の建築作品をマケットや写真、素材で

紹介しつつ、姫路城、書寫山圓教寺、姫路市立美

術館という姫路の「三大建築」の魅力を「つんつん」、

「ぱらぱら」といった「オノマトペ」を使って紐解きます。

隈研吾流姫路建築マップの配布や、「休憩所づくり」

のワークショップも開催予定。今までにない姫路の建

休館日:月曜日(9/23、10/14、11/4は開館)

9/24®, 10/15®, 11/5®

●料金: 一般1,400 (1,200) 円/大高800 (600) 円/

9月21日母 ▶ 11月17日日

12月7日母 ▶ 2月2日母

左, 髙田賢三氏(旧邸にて)

© 隈研吾建築都市設計事務所

The Collection Meets KUMA Kengo 過去から未来へ生き残るデザイン

右、隈研吾がリノベーションをおこなった 高田賢三の旧邸宅 のイメージパース

隈研吾と当館学芸員の協働で、当館所蔵品と 隈の空間デザインとのコラボレーションを展開 姫路生まれのファッションデザイナー、髙田賢 三のパリ中心街にある旧邸宅のリノベー ションを担当した隈研吾。隈が敬愛する髙田 賢三へのオマージュとなる本展では、邸内を映 像再現し、髙田賢三の遺愛品を展観します。

●休館日:月曜日(1/13は開館)、

年末年始(12/28~1/3)、1/14必

●料金:一般700 (500) 円/大高400 (200) 円/ 中小200 (100)円

プリズム―見えない光を捉えるアート 企画展示室 圓教寺×隈研吾 生き延びるためのデザインワーク: これからの用の美 書寫山圓教寺

小川晴暘と飛鳥園 100年の旅

©Asukaen Inc

隈研吾流オノマトペで見る建築 姫路編

The Collection Meets KUMA Kengo 過去から未来へ生き残るデザイン

姬路市美術

●····(休館中)····

●…(休館中)…

3 2024 コレクションギャラリー

霧の彫刻一体・音・光

見てみよう 作品はアイデアの宝庫

超入門!美術刀剣鑑賞のいろは

ちょっと昔の姫路の風景

静けさに耳を澄ます

國富奎三コレクション 近代フランス絵画 モネからマティスまで

水辺を描く

Collection Gallery [コレクション展示] ●会場:コレクションギャラリー ●料金:無料

4月13日母 ▶ 6月23日日

水辺を描く

海・湖・川といった水辺は、風景画の重要な主題 としてしばしば描かれてきました。海に囲まれた日 本では、穏やかな瀬戸内海に波の荒ぶる日本海と 様々な表情をもった海を見ることができ、また内陸 の湖や川であっても季節や天候、時間により豊か な変化があります。

本展は、当館蔵の近現代日本絵画の中から水辺 を描いた風景画を紹介します。ひとくちに「水辺」 といっても作家や描かれた舞台、技法材質によっ て大きく異なる多彩な作品世界をお楽しみください。



6月29日母 ▶ 9月1日日

作品を展観します。大人も子どもも 一緒に作品鑑賞しながら、作品の 中の色々なアイデアや魅力を見つけ て、楽しむことができる展覧会です。

1916年 絹本着色



9月14日母▶11月17日❸

超入門!

美術刀剣鑑賞のいろは 近年、各地の美術館で展覧会 が開かれ、注目を集める日本刀。 しかし、「刀ってどれも同じに見 えて、違いがわからない」「どこ を見たらいいの?」こんな疑問を 持たれたことはないでしょうか。 本展では当館所蔵刀剣を、美 術における基礎的な鑑賞ポイン トとともに展観します。



江戸時代前期 17世紀

11月30日母 ▶ 2月2日日

ちょっと昔の姫路の風景 絵画は写真以上に実際の雰囲気 を伝えていることがあります。街 の情景を描いた絵からは、それが 描かれた当時の空気や、人々の 生活なども感じることができるでしょ う。本展では姫路を描いた風景画 をご紹介いたします。いずれも少し だけ昔の風景で、今では失われた 川西祐三郎《書寫山》1980年 木版・紙 情景も多く含まれています。思い 出の風景をお楽しみください。



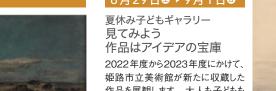
2月8日 → 3月14日 ◎

静けさに耳を澄ます

絵画や彫刻が表現するのは、目に映る「かたち」 だけではありません。作品の世界からは「音」も 聞こえてきます。本展では、それらのなかから「静 けさ | に注目します。 ひとくちに 「静けさ」 といって も、全くの無音から、たとえば"しんしんと降り積も る雪"のように表現される印象上の静寂まで、そ の場面や性質は様々です。当館所蔵の作品を通 じて、多彩な「静けさ」に耳を澄ませてみませんか。

> レオン・スピリアールト 《オステンドの灯台》 1908 年 色鉛筆、淡彩、墨、パステル・紙





庭山耕園《月秋月見草図》